

受章おめでとうございます



平成23年春の叙勲



瑞宝小綬章
高橋 秀雄さん
(元皇宮警察本部護衛部長)



旭日双光章
椎名 馨さん
(元牛久市議会議員)

長年にわたり、社会のために尽力した叙勲などの受章者が発表され、市内では次の方々が受章しました。皆さん受章おめでとうございます。

平成23年春の褒章



藍綬褒章
武田 秀夫さん
(現篤志面接委員)



瑞宝双光章
細田 政勝さん
(元警視庁警部)



瑞宝双光章
熊澤 隆司さん
(元警視庁警視)



瑞宝双光章
落合 博さん
(元自衛官)



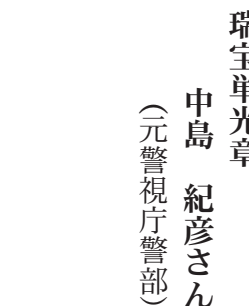
瑞宝単光章
助川 登さん
(元東京消防庁消防司令)



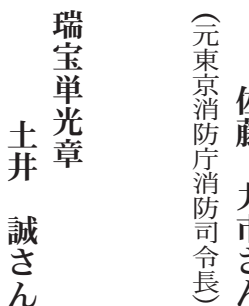
瑞宝単光章
菅原 良策さん
(元警視庁警部)



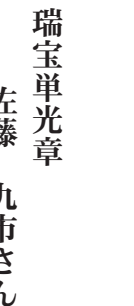
瑞宝単光章
川田 喜美子さん
(元自衛隊中央病院看護師長)



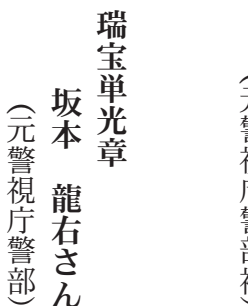
瑞宝単光章
中島 紀彦さん
(元警視庁警部)



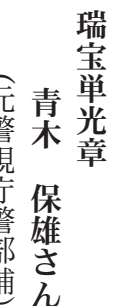
瑞宝単光章
土井 誠さん
(元自衛官)



瑞宝単光章
佐藤 九市さん
(元東京消防庁消防司令長)



瑞宝単光章
坂本 龍右さん
(元警視庁警部)



瑞宝単光章
青木 保雄さん
(元警視庁警部補)

第16回危険業務従事者叙勲

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

地域開放型の 学校屋内温水プールが完成



ひたち野うしく小学校の屋内温水プール



児童代表の山中さん



水泳を披露する児童たち



同校の敷地内に完成した
モニュメント「水辺の塔と池」

6月26日、ひたち野うしく小学校で
屋内プール棟およびモニュメントの「水
辺の塔と池」の完成式が行われました。
新しくできたこのプール棟は、市
内初の学校屋内温水プールと、サー
キットトレーニングなどができるト
レーニング室を備えています。また、
プール学習で児童が使用するととも
に、市民も利用できる(事前に登録す
る必要あり)など、市民の健康増進に
一躍担う施設となっています。

池辺勝幸市長は「学校の授業で使
用できるのはもちろんのこと、地域
の人々の健康増進、スポーツ振興が
図れる施設だと思っています。今後、
地域と学校の交流の場になることを
期待しています」とあいさつ。児童代
表で6年生の山中茜さんは「たくさん
練習して、泳ぎが上手になりたいと
思います。これから友達や家族と利
用したいです」と述べました。

またこの日、現代美術作家の村上
つぐみ先生など14人の方々が、同校
児童の成長と草木や生き物の集まる
豊かな水辺を育むことを願って制作
したモニュメント「水辺の塔と池」も
完成披露されました。

ひたち野うしく小学校屋内プール棟の利用案内

利用時間 午前9時～午後10時まで※利用は、

1回2時間まで。※事前の登録が必要です。

負担金(市内の場合) 大人400円、中・高校生300円、小学生200円

問い合わせ ひたち野うしく小学校プール棟

☎873-2233(第2・第4月曜日、年末年始は休館)



生産者の方(写真右奥)と給食を食べながら交流する児童

学校給食「牛久の日」

6月22日、食と農の教育の一環として、牛久産の食材を取り入れた学校給食を提供する「牛久の日」が市内小中学校で実施されました。

平成18年度から始まった「牛久の日」。この日、神谷小学校では、市内で農業や養豚業を営んでいる生産者たちと児童と一緒に学校給食を楽しみました。

3年生の林若雪^{りんがうしえ}さんは「生産者の人たちに質問したら、いろいろなことを教えてくれた。『河童スイカ』は、いつも食べているスイカより大きくて甘い」とおいしそうに食べていました。

学校給食ゼロエミツ

シヨーン 全国へ



今年10年目を迎えた「学校給食ゼロエミツシヨーン」。給食という「いのち」に関わる身近な教材で「環境を守っていく意義を体験して学ぶ機会にしたい」と、有効微生物(EM)を活用し、地球温暖化防止と循環型社会の構築を学びつつ、市内小学校の4年生から6年生を中心に毎日食べ残しを堆肥化し、土作りを実践しています。

子どもたちが10年間継続して行っているこの活動は他には例がなく、このたび、NPO法人有機農産物普及・堆肥化推進協会の目に留まり、8月26日、早稲田大学国際会議場で開催される「第19回生ゴミリサイクル交流会2011生ごみは宝だ!」で発表することになりました。

当日は、事業開始当初から指導に当たっているNPOエコライフが「次の世代を育てる食の環境づくり」として、牛久の子どもたちの取り組みを全国に紹介します。

問い合わせ NPOエコライフ ☎ 74・5644

講演会「動物たちとの心豊かな暮らし」

6月5日、作家の渡辺眞子さんと絵本作家のどいかわさんの講演会「動物たちとの心豊かな暮らし」が、市中央生涯学習センターで開催されました。

講演では、日本で年間30万匹もの犬猫が殺処分されている現実があること、そして、その殺処分は無責任な飼い主が招くものであるということが語られました。また、上映されたアニメーションでは、「命の大切さ」を子どもにも分かりやすく伝えました。来場者からは「人と動物が暮らしやすい社会づくりのために、自分にもできることを見つけて協力したい」、「多くの命を救うために、生涯飼育、適正飼育をもっと進めてほしい」という声が聞かれました。

市民講座「放射能の真実」

7月6日、市民講座「やさしく解説!放射能の真実」が市中央生涯学習センターで開催され、佐藤斉准教授(茨城県立医療大学放射線技術科学科)と渡邊尚子准教授(同大学看護学科)が講演をしました。

池辺勝幸市長は「放射能に対して正しく理解し、市全体で対応していきたい」とあいさつ。講演では、日常生活での放射線による健康への影響や不安に対する心の健康について、それぞれの立場から分かりやすくお話を伺うことができました。

本講座を聴講した50代の女性は「具体的対策をもっと聞きたいです。今後またこのような企画が催されるのを期待しています」、60代の女性は「放射能を気にしすぎてストレスを抱えてしまうことの方が怖いですね」と話していました。



講演する佐藤斉准教授



どいかわさんと渡辺眞子さん(写真右から)

市商工会青年部が

牛久城址で草刈り



市では、「茨城県身近なみどり整備推進事業」を活用して、市内の平地林の整備を進めています。

6月19日、牛久市商工会青年部(代表・小磯寿彦^{かずひこ}部長)15人が整備対象の一つである牛久城址で、草刈りを実施。早朝に集合して、バロネスやチェーンソー、刈り払い機を使いながら、市の職員と一緒に草刈り作業に汗を流しました。

この事業は、「牛久ワインビレッジ構想」のテーマの一つである「水と緑のネットワーク」づくりの一環として行われています。みんなの力で、市の財産である史跡と豊かな景観を守り育てていきましょう。

問い合わせ 市農業政策課 ☎ 内線1521、1522

ボーイスカウト部門 の最高級に

7月4日、日本ボーイスカウト牛久第2団は、同団のスカウトの照井徹さん（下根中学校3年生）がボーイスカウト部門最高級の「菊章スカウト」に進級したことを報告するために来庁しました。

ボーイスカウト運動は「人格・健康・技能・奉仕」の教育4本柱に、奉仕・野外活動を行います。池辺勝幸市長から「ボーイスカウトをしていてどうですか」と質問されると、照井さんは「学校では学べないことを、学ばせてもらえて楽しいです」と話していました。



今までの活動が認められ、「菊章スカウト」に進級した照井さん（写真右）

自転車盗難撲滅

キャンペーン!

6月28日、牛久警察署と牛久市防犯連絡員協議会は、牛久駅周辺でチラシ、ワイヤーロックを配布しながら「自転車盗難撲滅」、「振り込め詐欺防止」、「侵入盗犯防止」を呼び掛けました（下写真）。

なお、7月1日から8月31日の期間は、「夏季における犯罪抑止活動」を実施しています。



うしくゴールデン ボーイズが優勝

6月27日、うしくゴールデンボーイズが「春季茨城県還暦軟式野球大会」での優勝を報告するために来庁しました。同チームは、この優勝で8月に群馬県太田市で開催の「東日本還暦軟式野球大会」と9月に宮崎県で開催の「第27回全日本還暦軟式野球選手権大会」の出場権を獲得。今後の活躍が期待されます。



東日本大震災

チャリティー映画会

6月21日、ゆめまちネットの皆さんが来庁し、6月3日に市中央生涯学習センターで行ったチャリティー映画会「武士の家計簿」での収益金など30万円を赤い羽根共同募金に、10万円を「ふるさと応援寄附金」として市に寄付しました。

約800人が足を運んだこのチャリティー映画会、池辺勝幸市長は「皆さんの善意を被災地に届けたいと思います」と話しました。

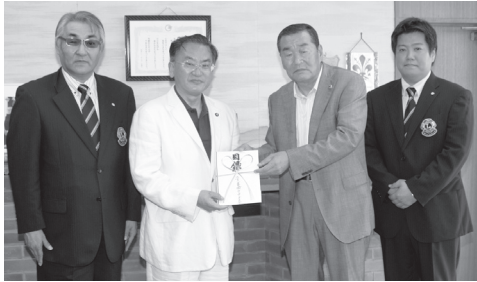


チャリティー映画会の収益金を寄付するゆめまちネットの皆さん

寄付金のご協力ありがとうございます

「ふるさと応援寄付金」としていただいた寄付金は、皆さんのご希望により、市の災害被害活動支援のために使われます。

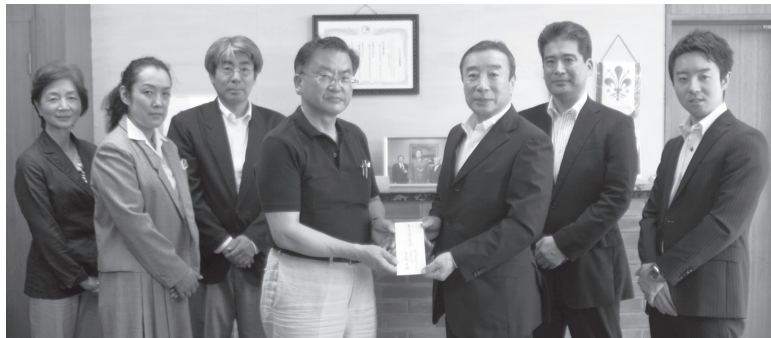
7月7日、牛久荃崎ライオンズクラブからチャリティーボウリング大会で集めた30万円が寄付されました(下写真)。



6月15日、社交ダンスいずみの会から1万円が寄付されました。震災後、活動時に会員から少しずつ集めて今回の寄付となりました(下写真)。



6月29日、株式会社マーナから500万円が寄付されました(右写真)。名児耶美樹さん(代表取締役社長・写真右から3人目)は「東日本大震災で被害に遭われた方たちのお役に立てればうれしいです」と話していました。



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1 「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
ぶれいく

皆さんのお便りから

短歌・俳句・山柳コーナー

つゆ空にどこから来たの渡り鳥

刈谷町 小山さん

梅雨明けや我等の心輝けり

小坂町 飯塚さん

水蓮が咲き蛙葉に乗り遊ぶ池

田宮 岡村さん

夏まつり集う楽しさ夕暮れに

栄町 増田さん

夾竹桃家より高くのびのびと赤く咲きて美しい

岡見町 別府さん

被災者の溢れる涙見る度に

わが心にも辛さしみ入る

南 小林さん

惚けたる母の向うに在りし日の

「力ある母」だぶって見える

岡見町 根本良子さん

向日葵の朝日を浴びて微笑みぬ

蟻が口付け花に埋れて

桂町 木村さん



南・犬塚さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、全てを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。